



# 休眠預金等活用事業の近況

2022年10月31日

(一財) 日本民間公益活動連携機構

# 数字で見る休眠預金等活用事業の全体像

## ■ 資金分配団体による助成事業数

**116**事業 (累計)

|                 |      |
|-----------------|------|
| 2019年度通常枠       | 24事業 |
| 2020年度通常枠       | 20事業 |
| 2020年度緊急支援枠     | 20事業 |
| 2020年度緊急支援枠〈随時〉 | 16事業 |
| 2021年度通常枠〈第1回〉  | 11事業 |
| 2021年度通常枠〈第2回〉  | 10事業 |
| 2021年度コロナ対応支援枠  | 15事業 |

## ■ 助成予定総額 (累計)

約 **154.9** 億円

|                     |         |
|---------------------|---------|
| 2019年度通常枠           | 約29.8億円 |
| 2020年通常枠            | 約27.9億円 |
| 2020年度緊急支援枠         | 約15.9億円 |
| 2020年度緊急支援枠〈随時〉     | 約20.9億円 |
| 2019年度通常枠〈20年度追加助成〉 | 約3.5億円  |
| 2021年度通常枠〈第1回〉      | 約18.5億円 |
| 2021年度通常枠〈第2回〉      | 約14.2億円 |
| 2021年度コロナ対応支援枠      | 約24.2億円 |

## ■ 資金分配団体総数 (コンソーシアム構成団体含む延べ団体数)

**173** 団体

### 資金分配団体116団体 +コンソーシアム構成団体57団体

|                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 2019年度通常枠       | 22団体+4コンソーシアム構成団体  |
| 2020年度通常枠       | 20団体+11コンソーシアム構成団体 |
| 2020年度緊急支援枠     | 20団体+8コンソーシアム構成団体  |
| 2020年度緊急支援枠〈随時〉 | 16団体+11コンソーシアム構成団体 |
| 2021年度通常枠〈第1回〉  | 11団体+13コンソーシアム構成団体 |
| 2021年度通常枠〈第2回〉  | 9団体+3コンソーシアム構成団体   |
| 2021年度コロナ対応支援枠  | 15団体+10コンソーシアム構成団体 |

## ■ 実行団体数 (累計)

**706** 団体

|                 |              |
|-----------------|--------------|
| 2019年度通常枠       | 143団体        |
| 2020年度通常枠       | 97団体         |
| 2020年度緊急支援枠     | 229団体        |
| 2020年度緊急支援枠〈随時〉 | 130団体        |
| 2021年度通常枠〈第1回〉  | 49 団体、公募・選定中 |
| 2021年度通常枠〈第2回〉  | 公募・選定中       |
| 2021年度コロナ対応支援枠  | 58団体、公募・選定中  |

複数事業採択を除く、  
資金分配団体実数

**100** 団体

資金分配団体62団体  
コンソーシアム構成団体38団体

(2022年4月末現在)

# 2022年度 通常枠第一回目 選定結果 (10月7日公開)

| 団体名                               | 申請事業名                                      | 助成予定額  |
|-----------------------------------|--|--------|
| <b>草の根活動支援事業 全国 6事業</b>           |  |        |
| 認定NPO法人 全国こども食堂支援センター・むすびえ        | 地域の居場所のトータルコーディネート事業                       | 3.64億円 |
| 一般社団法人 全国フードバンク推進協議会              | 自立したフードバンク団体育成のための組織基盤強化事業                 | 0.95億円 |
| 更生保護法人 日本更生保護協会                   | 立ち直りを支える地域支援ネットワーク創出事業                     | 0.81億円 |
| 公益社団法人 日本サードセクター経営者協会             | 多角的福祉事業体の創出                                | 1.37億円 |
| 公益財団法人 パブリックリソース財団                | 様々な困難を抱えて困窮する女性の経済的自立支援事業                  | 3.74億円 |
| 公益社団法人 ユニバーサル志縁センター               | 地域若者サポートネットワーク設立事業                         | 0.98億円 |
| <b>草の根活動支援事業 地域 6事業</b>           |  |        |
| 特定非営利活動法人 碧いびわ湖 ★*                | あらゆる子どもの育ちを保障する地域総動                        | 1.81億円 |
| 認定NPO法人 神奈川子ども未来ファンド *            | 困難を抱え孤立する子ども・若者の社会的自立支援事業                  | 0.83億円 |
| 公益財団法人 地域創造基金さなぶり                 | 若年困窮女性の孤立防止と経済的自立支援                        | 2.93億円 |
| 公益財団法人 南砺幸せ未来基金 *                 | 社会的困難者が役割と希望を再生するコミュニティ活動                  | 1.56億円 |
| 認定NPO法人 北海道NPOファンド                | 社会的居場所を核とした働き方と暮らし方の共生の実現                  | 0.89億円 |
| 一般財団法人 未来基金ながさき ★*                | 地域共生社会で子ども達の故郷を無くさない                       | 1.51億円 |
| <b>イノベーション企画支援事業 2事業</b>          |  |        |
| 特定非営利活動法人 こどもたちのこどもたちのこどもたちのために ★ | うつ病予防支援                                    | 1.74億円 |
| 一般社団法人 全国食支援活動協力会                 | 多世代が食でつながるコミュニティづくり                        | 2.11億円 |
| <b>ソーシャルビジネス形成支援事業 2事業</b>        |  |        |
| 株式会社クロスエイジ ★*                     | 地域のスター農家による農福連携推進事業                        | 2.20億円 |
| 株式会社トラストバンク ★                     | 地域特産品及びサービス開発を通じた、地域事業者によるソーシャルビジネス形成の支援事業 | 1.44億円 |
| <b>災害支援事業 1事業</b>                 |  |        |
| 社会福祉法人 長野県共同募金会 ★*                | 災害時の多様なフェーズ・階層・対象への地域連携モデル創出事業             | 1.62億円 |

※ 団体名に「\*」があるものは、コンソーシアムにて選定された団体です。 ※団体名に「★」があるものは、資金分配団体として初選定の団体です。

# 2022年度 通常枠、コロナ・物価高騰対応支援枠の申請状況（件数、申請額）

2022年度 通常枠（予算40億円）残9.9億円

|      | 申請事業数 | 申請額合計  | 採択事業数 | 採択額合計  |
|------|-------|--------|-------|--------|
| 第1回目 | 40事業  | 74.8億円 | 17事業  | 30.1億円 |
| 第2回目 |       |        |       |        |
| 合計   | 40事業  | 74.8億円 | 17事業  | 30.1億円 |

2022年度 コロナ・物価高騰対応支援枠（予算56億円）残43.9億円

|      | 申請事業数 | 申請額合計  | 採択事業数 | 採択額合計  |
|------|-------|--------|-------|--------|
| 1次公募 | 6事業   | 13.2億円 | 2事業   | 6.3億円  |
| 2次公募 | 7事業   | 10.5億円 | 3事業   | 5.8億円  |
| 3次公募 |       |        |       |        |
| 4次公募 |       |        |       |        |
| 合計   | 13事業  | 23.7億円 | 5事業   | 12.1億円 |

2021年度 通常枠（予算36億円）

|      | 申請事業数 | 申請額合計  | 採択事業数 | 採択額合計  |
|------|-------|--------|-------|--------|
| 第1回目 | 33事業  | 55.8億円 | 11事業  | 18.3億円 |
| 第2回目 | 28事業  | 38.4億円 | 10事業  | 14.2億円 |
| 合計   | 61事業  | 94.2億円 | 21事業  | 32.5億円 |

2021年度 コロナ枠（予算40億円）

|        | 申請事業数 | 申請額合計  | 採択事業数 | 採択額合計  |
|--------|-------|--------|-------|--------|
| 1～6次公募 | 17事業  | 32.8億円 | 7事業   | 16.9億円 |
| 7次公募   | 14事業  | 13.7億円 | 8事業   | 7.4億円  |
| 合計     | 31事業  | 46.5億円 | 15事業  | 24.3億円 |



## 要約版

### 1. 資金支援

#### ①助成スキームごとの資金支援が戦略的に行われる

【計画】  
優先的に解決すべき社会課題（法律が定める3分野に対し、JANPIAにて定めた7領域）に対し、4つの資金支援のスキームを設定、資金分配団体の公募・採択の実施 → 資金分配団体が公募・採択をする実行団体の事業に資金支援が行われる。

- ・草の根活動支援事業
- ・ソーシャルビジネス形成支援事業
- ・イノベーション企画事業
- ・災害支援事業
- ・基盤強化支援事業（PO人件費の助成）
- ・緊急助成（新型コロナ支援枠 ※2020年度～）

#### 【評価方法】

##### A) 資金分配団体・実行団体の数

- ①事業領域 ②地域毎にバランスよく資金分配団体や実行団体の活動が展開されるように配慮された結果となっているか？（事業領域、地域の偏在の解消）
- ③特定の団体に資金が集中するようになっているか？

##### B) 助成金額

- A) の①～③について定量的なデータをもって評価を加える

#### 【総括・今後に向けて】

A) については、公募説明会への呼び込みや、申請希望団体への個別相談の展開、過去採択に至らなかった団体へのフォローアップ、審査過程における選定配慮事項に加えることで必要なバランスが取れている状況につき引き続き継続的に取り組む。  
B) の視点では、複数事業を申請する団体への対応基準等を明確にしていける必要がある。

Copyright ©2023 JANPIA. 本資料の内容及び画像は複製・転載・譲渡・転売を禁じます。転売することはいけません。

### ToC上のアウトカム

ToC上のアウトカムを達成するための当初計画

ToC上のアウトカムを達成するための評価方法・項目

- A) ●●●
- B) ■■■

総括・今後に向けた取組みなど

現在、情報整理中

※詳細版のイメージ

### 1. 資金支援

#### ②資金分配団体・実行団体の取組みにより社会課題が進む

評価項目B) 第三者評価の中間報告書からの分析

##### 【実施事項】

- 子どもの未来のための協働促進助成事業（2019年度通常枠）  
評価視点①：エコシステム形成のためのコネクティブインパクトの取組みについて成果を可視化する
- 子ども食堂サポート機能設置事業（2019年度通常枠）  
評価視点②：環境変化に対応するための新たな取り組みの成果を可視化する
- 安全・安心な地域者気合づくり支援事業（2019年度通常枠）  
評価視点③：エコシステム形成のコツを整理する

##### 【不足事項・見えてきた課題など】

- 【評価の視点①】  
基金、アライアンス、支援情報システム、夜の仕事につく親の支援モデルは、地域の支援関係者の連携を促進させている仕組みとして機能し始めていることが把握できた。
- 【評価の視点②】  
実行団体のサポートセンター機能は社会環境の変化に合わせて変化し、支援先の子ども食堂等居場所の安定した取り組みの実施を可能としている。
- 【評価の視点③】  
実行団体の活動の変化が支援利用者の拡大・支援内容の充実にも寄与し、関係機関との関係づくりに進展がみられる。

##### 【今後の活動、検討課題】

- エコシステム形成に事業がどの程度貢献し、最終受益者の望ましい変化に寄与すると予測できるかを可視化する。仕組みの持続可能性をどう担保するか。
- 最終受益者は具体的にどのような裨益・変化がみられるか。
- 事業の取り組みや成果の可視化が、助成終了後の資源調達につながるかの検証が必要

#### 【総括】

助成による資金・人材・資源等の投入により、望ましい変化は、事業の支援対象、実行団体、関係団体にて見られる。社会課題の解決を図るために、助成終了後の持続可能性を担保していくことが中間報告から見えてきた共通課題。

評価項目ごとの検証

## 詳細版

### 1. 資金的支援

#### ①助成スキームごとの資金支援が戦略的に行われる

評価項目A) 資金分配団体・実行団体の数

| 【実施事項】  | 【不足事項・見えてきた課題など】  | 【今後の活動、検討課題】   |
|---|---|--|
| <p>■ 資金分配団体による助成事業数</p> <p><b>116</b> 事業（累計）</p> <p>通常枠 65事業<br/>コロナ枠 51事業</p> <p>■ 資金分配団体総数</p> <p><b>173</b> 団体</p> <p>通常枠 94事業<br/>コロナ枠 79事業</p> <p>■ 実行団体数</p> <p><b>706</b> 団体</p> <p>通常枠 289事業<br/>コロナ枠 417事業</p> | <p>①事業領域<br/>3分野7領域にほぼ均等に資金分配団体、実行団体の対象事業が展開している状況<br/>※3分野ともに各事業が選択する事業領域として、政府支援的要素を有する領域の選択率が30%弱と、恒常的に低い（約は5.0%前後）</p> <p>②地域偏在への対応<br/>資金分配団体の存在しない県があり、地域の社会課題解決に向き合うNPOなどへの体質的活用事業における支援展開に向けて課題がある。<br/>※資金分配団体による公募対象地域の空白地は解消した</p> <p>③特定の団体に資金が集中<br/>特定の資金分配団体が複数事業（最大5事業）を採択され、事業を展開（13団体が複数回採択）しており、より多くの新たな取り組みが、育成も課題。</p> | <p>①事業領域<br/>多様な事業の申請を促すためJANPIA自らの案件形成の取り組み（例：探査・テーマ別のラウンドテーブルの開催、公募説明会における活用セミナー的な要素の導入など）</p> <p>②地域偏在への対応<br/>→ 担い手を増やすための取り組み<br/>→ 採択実績ある団体に集積されつつあるノウハウの移転に向けて<br/>→ コンソーシアム形態の応募推進</p> <p>・地域コミュニティ財団等、助成機能を有する中間支援組織の各地域での新設を支援するなど</p> <p>③特定の団体に資金が集中<br/>あらたな担い手を増やす取り組みの枠組みの中で、特定団体への資金集中が段階的に解消される前向き案件について<br/>・複数事業採択の条件の特定など（公募要領への反映など）<br/>→ 集積企画PTで協議等</p> |

### ToC上のアウトカム

評価項目A) ●●●

アウトプット・実施事項

アウトカムに向けた不足事項・見えてきた課題など

アウトカムに向けての詳細・今後の活動、検討課題

総括・今後に向けた取組みなど

Copyright ©2023 JANPIA. 本資料の内容及び画像は複製・転載・譲渡・転売を禁じます。転売することはいけません。

# 事業の取り組み状況

## ● 案件形成・協働、連携・対話の取り組み（一例）

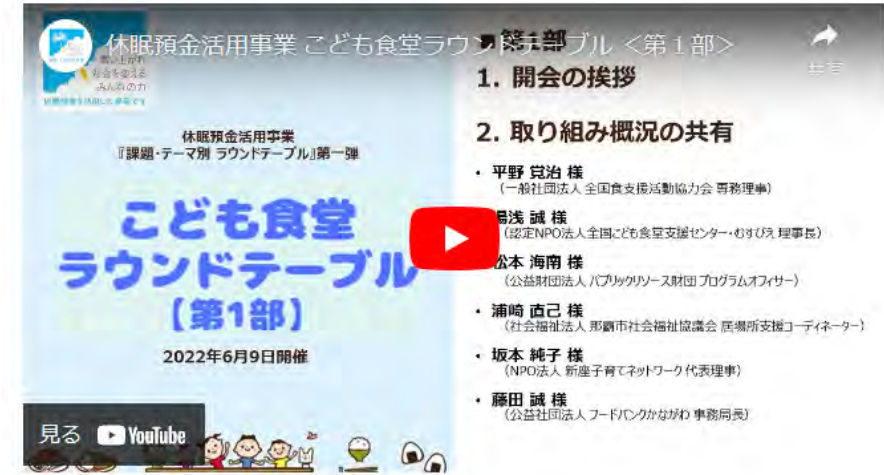
こども食堂ラウンドテーブルの開催

6月9日、資金分配団体、実行団体関係者、事業領域の専門家の方々をお招きして「こども食堂」を取り巻く課題について、意見交換を実施しました。

その際、一般の聴講者もオンラインで参加し、リアルタイムで意見募集を行い、議論しました。

当日の内容は、休眠預金活用事業サイトで公開。

URL:<https://kyuminyokin.info/articles/870>



## ● 企業との連携

2022年度下期の活動～2021年度マッチング会成果発表会、企業向けプロボノ・セミナー、資金分配団体向けプロボノ・コーディネーションセミナー、企業－団体マッチング会の開催等、ニーズに合ったマッチングなどの取り組みを進めています。

■ 2019年度～2022年度実績（累計）  
※2022年7月末時点

|                   | 件数<br>(累計)  | 連携企業<br>(累計) | 資金分配団体       |             | 実行団体         |              |
|-------------------|-------------|--------------|--------------|-------------|--------------|--------------|
|                   |             |              | (累計)         | (実数)        | (累計)         | (実数)         |
| ヒト（ボランティア・プロボノ支援） | 31件         | 9社           | 16団体         | 13団体        | 31団体         | 28団体         |
| モノ（製品、物資寄贈等）      | 155件        | 8社           | 104団体        | 36団体        | 155団体        | 128団体        |
| カネ（寄付など）          | 4件          | 4社           | 4団体          | 4団体         | 3団体          | 3団体          |
| 情報（紹介、ネットワーク等）    | 15件         | 9社           | 5団体          | 5団体         | 3団体          | 3団体          |
| その他（社会貢献プログラム等）   | 3件          | 3社           | 3団体          | 3団体         | 3団体          | 3団体          |
| <b>合計</b>         | <b>208件</b> | <b>33社</b>   | <b>132団体</b> | <b>61団体</b> | <b>195団体</b> | <b>165団体</b> |



## ●業務改善プロジェクトチーム

2022年度の業務改善 PT では、これまでの主に実務面での業務効率化等に資する取組の成果を踏まえ、制度運営上の課題などを洗い出し、改善に向けた具体的なテーマを定めて、資金分配団体の有志の皆様のご参加を得て、検討を進めています。

これらの成果は、JANPIAの事業計画や公募実務等に反映させていく予定です。

※現在、各チーム4回程度の会合を持ち、議論を重ねています。

### <6つの検討チーム>

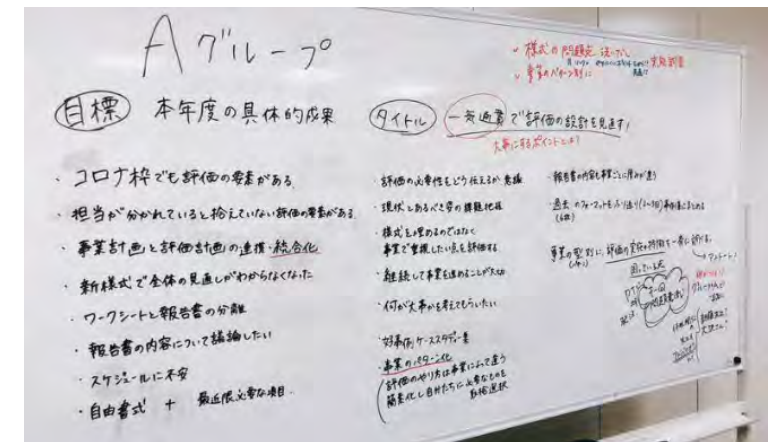
システム改善レビューチーム（3名）、評価検討チーム（10名）

制度関連①（自己資金、管理的経費、PO 経費等）チーム（10名）、制度関連②（出資・貸付）チーム（7名）

制度関連③（緊急助成の在り方）チーム（5名）

制度関連④（事業規模、3層構造のメリデメ、POの役割等）チーム（11名）

※ 8月31日開催の評価検討チームの会合の様子



## ●事業完了後監査の実施状況

コロナ緊急支援枠事業の事業完了報告を受けての監査を中心に実施。現時点で、2020年度コロナ緊急枠の事業に関する監査はほぼ終了。事業運営を通じての事務面の課題や、制度面に関する意見なども集約する機会となっており、連携と対話の好機と捉えています。監査終了後は、当日のやり取りを整理し、監査結果通知書として団体に共有しています。

## ●システムの改良等の対応

利用される皆様にとって意義あるものとすべく、業務改善PTのメンバーからもご意見をいただきながら抜本的な改良に取り組み、本年10月3日に新システムをリリースしました。今後も皆様のご意見をいただきながら、改良を重ねつつ、皆様の事業運営に役に立つシステムを目指して運用を進めていきます。

### 2020年度新型コロナ対応緊急支援助成事業 監査結果通知書

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は当財団の事業運営に多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて、先般大変お忙しい中ご協力をいただきました貴財団にて実施をいただきました2020年度新型コロナ対応緊急支援助成事業に関する監査結果につきまして下記通り報告申し上げます。内容ご確認をいただき今後の事業運営等の参考としていただければ幸いです。

よろしく申し上げます。

敬具

記

貴財団の休眠預金事業完了後の監査を行った結果、特段の指摘事項はありませんでした。

#### 1. 事前監査

休眠預金助成システム等の書類の確認を実施しました。

詳細内容は、「2. 詳細」をご参照ください。

#### 2. 本監査（対面監査）

事前監査で確認ができなかった事項について、対面監査（オンライン）で確認を行いました。





# プログラムオフィサー向け研修等の実施状況

各年度採択事業を担当する資金分配団体のプログラムオフィサー向け研修を中心に人材育成に取り組んでいます

研修受講者累計 ⇒ 2019年度以降 266 名(2022年10月末時点)

2019年度採択団体 = 61名受講    2020年採択団体 = 75名受講  
2021年採択団体 = 68名受講    2022年採択団体 62名受講予定

## ■ PO研修(必須研修) ~22年度

- ・ 6月8日 2020年度通常枠 中間評価直前PO研修
- ・ 6月28日 2019年度通常枠 PO研修(事後評価&事業終了に向けて)
- ・ 10月5日、6日 2021年度通常枠 1次・2次合同PO研修
- ・ 10月18日、19日 2022年度通常枠及びコロナ枠 PO (公募前) 研修

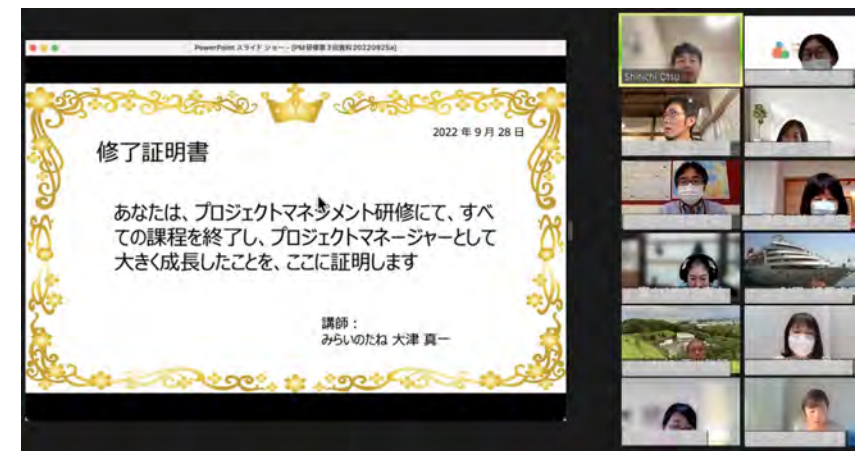
## ■ 任意研修(勉強会)

- ・ 6月30日 ランチナレッジ会~第1回: ITを使ったNPO支援ツールの紹介
- ・ 行政連携セミナー (講座提供:某国内企業) ※実行団体も参加
- ・ 7月7日 行政連携セミナー 基礎講座
- ・ 9月7日 行政連携セミナー 実践編(ワーク編)

## ■ プロジェクトマネジメント実践研修(3回連続講座)

- ・ 第1回: 7月28日「プロジェクトマネジメント概要・立ち上げ・計画」
- ・ 第2回: 8月24日「プロジェクトの実行」  
補講: 9月14日「実行のフォローアップ」※希望者のみ、任意参加
- ・ 第3回: 9月28日 (水) 10:00-12:00 「プロジェクトの振り返り」

PO研修の様子



プロジェクトマネジメント実践研修の様子

## 資金分配団体、実行団体による効果的・効率的な評価実施の支援に取り組んでいます

### ■ 評価ツールの提供～各種ツールの作成と提供・利用促進

- ・実行団体向け評価ハンドブック～事後評価編～（2022年6月版）の公開（2020年度以降、概要編、事前評価編、中間評価編、参考資料集編を順次作成、公開中）
- ・事業設計図補足資料（事業計画策定の際の補助資料として活用可能）の公開（2022年4月）
- ・事前評価・中間評価・事後評価別、点検検証のチェックリストの公開（2022年8月）

### ■ 評価専門家への相談の機会

各団体の自己評価を専門家を交えてレビュー会形式で検証を行う機会を設定、より効果的な評価実施に向けて活用いただいています。

- ・2019年度通常枠 事後評価計画点検レビュー会の実施（7月～10月 全資金分配団体に個別に実施）
- ・2020年度通常枠 中間評価検証レビュー会の実施（11月～12月 資金分配団体同士のピアラーニングも兼ねて2団体ずつ実施予定）
- ・2021年度通常枠 事前評価検証レビュー会の実施（23年1月～ 全資金分配団体に個別に実施予定）

### ■ 自己評価の実施支援

各採択年度事業ごとに事前・中間・事後といった評価実施のタイミングに合わせ、研修による支援を行っています。

※JANPIAのPOの評価スキル向上に資するJANPIA内の研修も同タイミングで実施)

### ■ 第三者評価・外部評価の実施

自己評価の客観性を確保するため、数団体をサンプリングし、外部専門家（JANPIAが公募・選定した評価者）による第三者評価・外部評価を実施しています。

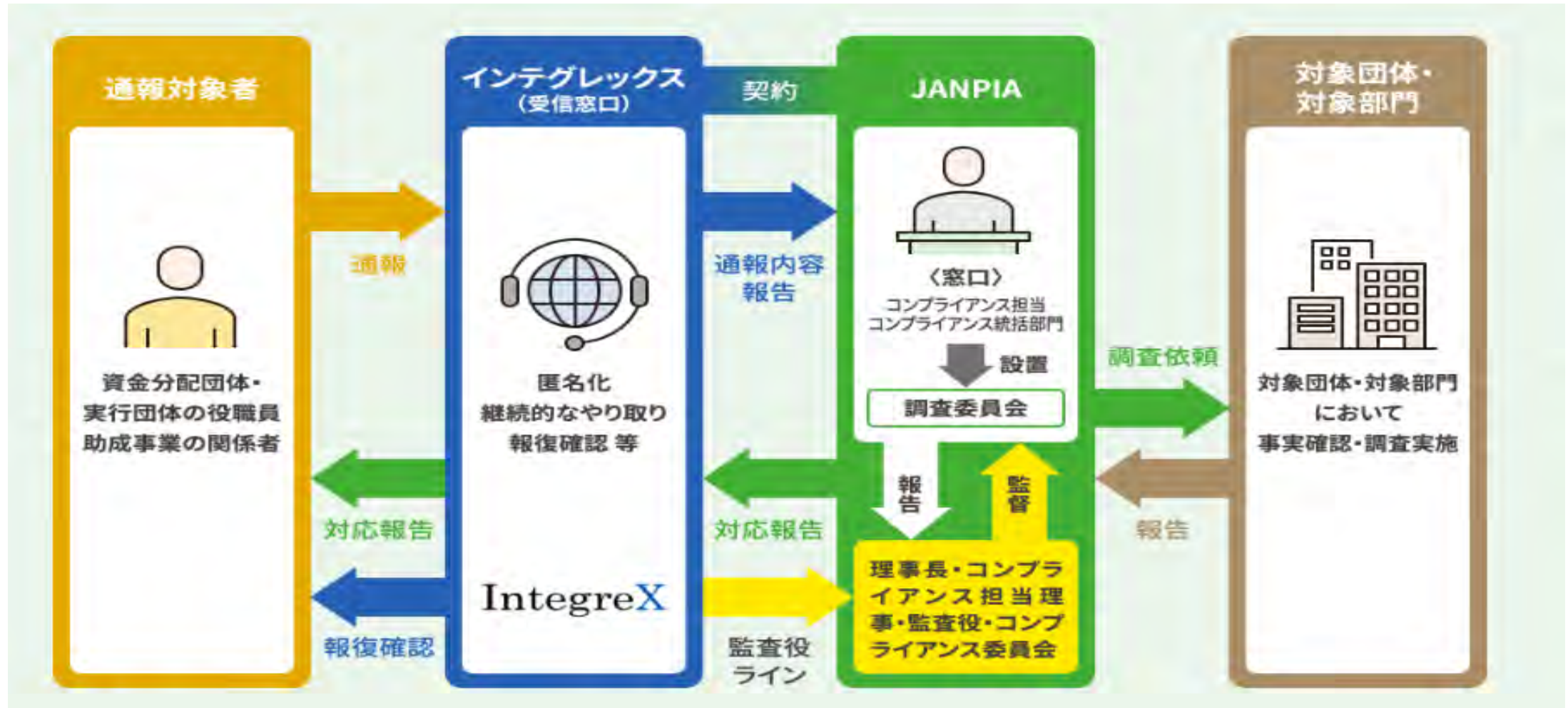
- ・実施中の事業：2019年度通常枠 3事業、2020年度通常枠 2事業
- ・2020年度コロナ緊急助成枠外部評価発表会の実施（2022年7月27日）



実行団体向け評価ハンドブック 22年6月公開

## 資金分配団体・実行団体職員専用ヘルプライン

資金分配団体及び実行団体の役職員、助成事業の関係者を対象として、直接通報や相談を受けることのできる通報窓口を設置していますが、より広範に不正行為等の予兆把握に努めるべく、窓口を『コンプライアンス 相談・通報窓口』としてリニューアルをしました（9月）。





## 事業の取り組み状況 ～ 内部通報制度の活用②

全件、事実関係について資金分配団体その他関係者への調査を実施し、その結果を通報者にフィードバックを行い、継続的に状況のトレースを行うことをもって完了としております。  
本仕組みを通じた不正行為等の予兆把握に加え、事業改善の気づきの機会としても活用できることも踏まえ、広く制度利用の周知を進めていきます。

2019年度～2022年度 受付状況（全13件、内 22年度は5件） 2022年10月1日現在

| 内容                            | 件数 |
|-------------------------------|----|
| 実行団体のガバナンス・コンプライアンス体制に関すること   | 3  |
| 実行団体の公募・採択に関すること              | 2  |
| 資金分配団体のガバナンス・コンプライアンス体制に関すること | 2  |
| 資金分配団体のハラスメントに関すること           | 1  |
| 実行団体のハラスメントに関すること             | 1  |
| JANPIA職員の行動に関すること             | 1  |
| 資金分配団体の実行団体に対する対応等に関すること      | 1  |
| 実行団体の受益者に対する対応等に関すること         | 1  |
| 実行団体の資金管理に関すること               | 1  |
| 合計                            | 13 |

## ●コロナ・物価高騰支援枠の活用セミナーの実施（9月15日開催）

コロナ・物価高騰支援枠の活用促進を目的に、複数の資金分配団体関係者の協力を得て開催。約50団体からの参加があるなど、本支援枠の活用への関心も高いことから、引き続き周知を図っていきます。

新型コロナウイルス及び原油価格・物価高騰対応支援枠

### 活用セミナー

生活者への支援、地域における  
多文化共生に向き合う案件形成に向けて

**9月15日(木) 14:00～15:30**  
【オンライン開催・要申込】

**JANPIA**  
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

### <第一部>

物価高騰と社会課題解決の現場への諸影響について

パネリスト：

- ・公益財団法人 パブリックリソース財団  
チーフプログラムオフィサー 黒木明日丘さん
  - ・NPO法人 ワンファミリー仙台  
地域福祉課 小林由美子さん
  - ・認定NPO法人 とちぎボランティアネットワーク  
プログラムオフィサー 岩井俊宗さん
- ※聞き手：JANPIA事務局（PO）

### <第二部>

海外から国内への避難民、難民支援、多文化共生等事業領域の事業の現場から

パネリスト：

- ・認定NPO法人 難民を助ける会  
理事長 堀江良彰さん
  - ・公益財団法人 日本国際交流センター  
執行理事 毛受敏浩さん
  - ・一般財団法人 中部圏地域創造ファンド  
プログラムオフィサー 栗木梨衣さん
- ※聞き手：JANPIA事務局（PO）

## 課題・テーマ別ラウンドテーブル 第2弾を開催

休眠預金活用事業「課題・テーマ別ラウンドテーブル」第2弾



誰ひとり取り残さないために  
災害時に向けて平時からできること  
～ネットワーキングの重要性を考える～

2022年10月26日(水) 16:00～18:00

\*Zoomによるオンライン実施(ウェビナー)、要参加申込

『誰ひとり取り残さないために』に平時からできることを、皆さまと考える場とし、意見交換を行い、発災時にすみやかに、そして円滑に機能するネットワークづくりについて議論・共有したいと思います。

[パネリスト] 石原 達也さん <特定非営利活動法人 岡山NPOセンター>  
白川 由利枝さん <公益財団法人 地域創造基金さなぶり>  
山内 幸治さん <特定非営利活動法人 エティック>  
瀧田 真理さん <特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム>

[ファシリテーター] 菅野 拓さん <大阪公立大学 大学院文学研究科 人間行動学専攻 准教授>



災害発生時に備えた「平時のネットワークの形成」にどのような取り組んでいくかについて、災害支援の現場の実践を通じた学びや、既にネットワーク形成に取り組んでおられる皆様から事例のご紹介などをしていただきながら、日頃から様々な社会問題の解決に取り組む皆様と一緒に考える機会として、災害支援事業領域の担い手の拡充に取り組んでいます。



# 休眠預金活用事業サイトによる情報発信

様々なカテゴリーで  
情報を掲載

- Home
- > 休眠預金活用とは
- > 団体の活動
- > JANPIAの活動
- > 業務改善活動
- > 関係者インタビュー
- > 活動スナップ
- > 成果物レポート
- > イベント・セミナー
- > メディア掲載
- > 論文紹介
- > 実行団体の公募情報
- > 資金分配団体リスト
- > 団体詳細情報

事業登録・情報公開

休眠預金活用事業サイト

気になるワード

Snapshot  
ローランズプラス

関係者インタビュー  
「誰ひとり、取り残さない」のさらなる実現に向けて | JANP...

活動スナップ  
ウィズコロナ時代の障がい者共同雇用 | ローランズプラス | 活...

現在実施中の  
【実行団体の公募】

実行団体の公募 | 2022年9月15日現在

成果物レポート  
沖繩・難島の子ども派遣基金 事業補助実績 | みらいファンド沖...

団体の活動  
防災の鍵は「ネットワーク」の形成。支援を現場につなぐ上で必要なことは？ | 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク...

最新の投稿

休眠預金等の投融資への活用に関する考察 | 関西大学商学論集 第67巻第2号 (2022年9月)  
休眠預金活用事業が取り上げられた論文を紹介する「論文紹介」、今回は...  
JANPIA | 広報担当 | 51 views | 2022/09/23 17:29

実行団体の公募 | 2022年9月15日現在  
資金分配団体による「実行団体の公募」の掲載をお届けします。掲載情報...  
JANPIA | 広報担当 | 193 views | 2022/09/15 11:00

愛知県主催「休眠預金活用助成金セミナー」のご案内  
休眠預金活用事業に係るイベント・セミナー等のご案内するページです。...  
JANPIA | 広報担当 | 86 views | 2022/09/12 17:27

ウィズコロナ時代の障がい者共同雇用 | ローランズプラス | 活動スナップ  
今回の活動スナップは、一般社団法人ローランズプラス (資金分配団体：...  
JANPIA | 広報担当 | 112 views | 2022/09/09 09:00

「誰ひとり、取り残さない」のさらなる実現に向けて | JANPIA 達見元理事 × 二宮理事長 対談  
休眠預金等活用法における指定活用団体である一般財団法人 日本民間公...  
JANPIA | 広報担当 | 184 views | 2022/09/06 13:00

ランキング

- 1 実行団体の公募 | 2022年9月15日現在  
JANPIA | 広報担当
- 2 休眠預金等の投融資への活用に関する考察 | 関西大学商学論集...  
JANPIA | 広報担当
- 3 子どもから高齢者・障がい者、みんなが自然に寄り込む日曜の朝...  
JANPIA | 広報担当
- 4 教えて！「休眠預金活用」っていったい何？ 事務局長に聞きました...  
休眠預金活用事業サイト 2nd編 第2巻
- 5 沖縄・難島の子ども派遣基金 事業補助実績

休眠預金活用事業サイト  
MOVIE LIBRARY  
動画ライブラリー

動画ライブラリー

動画ライブラリー

「団体の活動」で8月現在PV no1記事

タッグを組んでサポート。  
非行少年の「生き直し」

【聞き手】評論家 荻上 チキさん

全国再非行防止ネットワーク協議会 高坂 朝人さん

<https://kyuminyokin.info/articles/566>

# 休眠預金活用事業サイトによる情報発信

「休眠預金を活用する団体の活動の様子」や「休眠預金活用事業の今」などを伝える情報サイトとして、2021年4月に休眠預金活用事業サイトを立ち上げ、記事アップ月5本を目標に運用を開始。

- ・ユーザー数、ページビュー（PV）については、イベント等の影響を受けつつも、掲載記事の増加とともに、増加傾向
- ・2022年5月には新たに「動画ライブラリー」を設け、運用を開始

## 【2021年4月～2022年8月の実績】

掲載記事数 : 125本、

動画ライブラリー登録数 : 40本

(うちJANPIA制作動画 : 17本)

事業登録 : 資金分配団体 116事業登録、

実行団体 598事業登録

## 【2021年度⇒2022年度（期中）比較】

ユーザー数月平均 : 1,310人⇒2,711人

PV月平均 : 7,892PV⇒11,935PV

休眠預金活用事業サイト記事数（累計）とPV・ユーザー数月平均推移





## ■プレスリリースの発信

プレスリリース発信を主に資金分配団体の採択結果公表時に行っております。

2019年度 4件/2020年度 8件/2021年度 8件

## ■休眠預金等活用事業のメディア掲載

休眠預金等活用事業に関するメディアの掲載について、JANPIAで把握している件数は以下の通りです。

|        |                 |
|--------|-----------------|
| 2019年度 | 6件              |
| 2020年度 | 49件             |
| 2021年度 | 173件            |
| 2022年度 | 117件 (4月～9月12日) |



2019年度通常枠実行団体の1年目の年度末報告を見ると、約7割の団体でローカル誌や専門誌などを含む外部メディアへの掲載が報告されています。



# 休眠預金等活用事業の透明性の確保：情報公開

## ■ シンポジウム



## ■ 記者発表



プラスソーシャルインベストメント/京都北都信用金庫

## ■ 活動場面



オーシャンズラブ（活動現場）

資金分配団体、実行団体のみなさまの活動の現場でシンボルマークが掲示されています。



沖縄県学童・保育支援センター（リーフレット）



ジャパン・プラットフォーム（ウェブサイト）



おもやい（看板）



ワーカーズコレクティブういず（キッチンカー）



YOU MAKE IT（ピブスへの表示）



← 建物用看板試作品（福祉作業所に発注しました）

## 【申請時提出資料の公開について】

**JANPIA**  
一般財団法人 日本民間公益活動連携機構

JANPIAとは 休眠預金等の活用 資金分配団体の公募 実行団体の公募 評価 事業情報 English >

### 申請時資料の公開

草の根活動支援事業 全国ブロック 採択事業

このページの情報は申請時（第1回：2021年9月末時点）の情報です。採択事業の詳細については、公募標準の情報をご覧ください。

※過年度採択の資金分配団体については、すでにJANPIAに提出済みの書類は提出不要となっております。

| 申請事業名    |              | 地域の社会教育コーディネーター育成事業        |               |
|----------|--------------|----------------------------|---------------|
| 団体名      |              | 認定特定非営利活動法人カタバノ（コンソーシアム申請） |               |
| 申請事業関連情報 |              | 団体関連情報                     |               |
| 事業計画     | PDF形式（2.7MB） | 定款・規程等                     | PDF形式（14.7MB） |
| 資金計画     | PDF形式（537KB） | 決算・事業報告関連                  | PDF形式（7MB）    |
| その他      | PDF形式（5.7MB） | 公募システム入力情報                 | PDF形式（407KB）  |
|          |              | コンソーシアム関連情報                | PDF形式（859KB）  |
|          |              | 認定特定非営利活動法人<br>ニギハヤヒ       | PDF形式（1.9MB）  |

| 申請事業名    |              | 子ども食堂をハブとした地域資源の循環促進事業      |              |
|----------|--------------|-----------------------------|--------------|
| 団体名      |              | 特定非営利活動法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ |              |
| 申請事業関連情報 |              | 団体関連情報                      |              |
| 事業計画     | PDF形式（3MB）   | 定款・規程等                      | PDF形式（749KB） |
| 資金計画     | PDF形式（505KB） | 決算・事業報告関連                   | PDF形式（1MB）   |
| その他      | PDF形式（2.1MB） | 公募システム入力情報                  | PDF形式（450KB） |

| 申請事業名    |              | 盲ろう者の地域団体の創業支援事業 |              |
|----------|--------------|------------------|--------------|
| 団体名      |              | 社会福祉法人全国盲ろう者協会   |              |
| 申請事業関連情報 |              | 団体関連情報           |              |
| 事業計画     | PDF形式（2.1MB） | 定款・規程等           | PDF形式（3.2MB） |
| 資金計画     | PDF形式（466KB） | 決算・事業報告関連        | PDF形式（3.4MB） |
| その他      | PDF形式（820KB） | 公募システム入力情報       | PDF形式（358KB） |

| 申請事業名 |  | 社会的困難者を支えるローカルアクション |  |
|-------|--|---------------------|--|
|-------|--|---------------------|--|

申請時提出資料の公開ページ 全申請団体（273事業）を対象に情報を公開

## 【実行団体の公募に関連する公開】

Community Foundations JAPAN **全国コミュニティ財団協会**

ホーム 全国コミュニティ財団協会とは 加盟団体と入会案内 コミュニティ財団とは（定義など） お問い合わせ

### 【募集終了】休眠預金等活用事業（2020年度通常枠）に基づく「地域の中小企業の社会事業化を支援する助成等を行う組織の設立支援事業」

ニュース&プレスリリース

| <一次公募結果>  | <二次公募結果>  |
|-----------|-----------|
| 申請団体情報の公開 | 申請団体情報の公開 |
| 内定団体情報の公開 | 内定団体情報の公開 |

休眠預金等活用事業・2020年度通常枠 **～5/10(月)正午**

「地域の中小企業の社会事業化を支援する若手支援者の育成事業」

## 地域の中小企業の社会事業化を支援する助成等を行う組織の

各資金分配団体で実施。

JANPIAでは、情報公開すべき内容について、内定団体向けオリエンテーションで説明を行うとともに、適切な公開が行われていることの確認を行っています



## 【JANPIAサイトの情報公開ページ】

The screenshot shows the JANPIA website header with the logo and navigation menu. A central banner reads "各休眠預金活用事業の情報公開". Below it, a filter box is set to "2019年度 通常枠". A text block explains that data is updated from submitted materials. A filter for "資金分配団体" is active, showing "公益財団法人 お金をまわそう基金" and "幸の根 (全国)". A system link for "休眠預金活用事業サイト" is visible at the bottom.

## 【休眠預金活用事業サイトの情報公開ページ】

2021年04月15日 公開

事業情報(702) 資金分配団体(127) お金をまわそう基金(4)



### 【事業情報】 医療的ケア児と家族の夢を寄付で応援・お金をまわそう基金

【2019年度通常枠・資金分配団体・草の根活動支援事業・全国ブロック】公益財団法人 お金をまわそう基金/医療的ケア児と家族の夢を寄付で応援



1事業1ページで事業を紹介

[資金分配団体・実行団体] の事業を調べたい!

休眠預金活用事業サイトでの  
『事業情報』の検索方法



休眠預金活用事業サイトや  
JANPIAウェブサイトにて事業情報の  
検索の仕方を知らせる記事を掲載



# 休眠預金等活用事業の透明性の確保：情報公開

## 報告書の作成例

課題の認知を高めるためのパンフレットや事業完了に合わせた報告書を作成。



みらいファンド沖縄



ちばのWA地域づくり基金



中部圏地域創造ファンド

## 動画の作成例

中間評価のタイミングなどで、実行団体の活動と成果を取り上げる動画を制作。



女性ネットSaya-Saya | DV被害にあった女性とその子どもたちのための支援事業

中央共同募金会



Gland・Riche | 地域巻き込み型共生社会の実現!

長野県みらい基金

## ウェブページ例

休眠預金等活用事業の専用ウェブページの運用。



中国5県コンソーシアム



B & G財団



ジャンプラットフォーム

## イベント実施例

事業完了のタイミングで報告会を実施するとともに、課題の認知を高めるためのイベントを開催。



国際交流センター



東近江三方よし基金